



NEWS

5年研修旅行

パラオ・太平洋の 極小島嶼国から 世界を見つめる

●平成24年7月24日(火)～7月29日(日)●

今年度より実施の研修旅行パラオコースに5年生22名が行ってきました。日本から真南に3000km、日本とは時差もないパラオ共和国は、世界でも屈指の親日国で、日本語を公用語とする州もあります。初日にはパラオ共和国環境大臣とのミーティングを行い、加速する観光化と環境保護に揺れるパラオの現状を学びました。2日目には、在パラオ日本国大使から、外交官の仕事内容について、パラオと日本の歴史的関係、現在の友好関係についてお話を聞きました。

3日目の海洋実習では、今年度、世界遺産に登録されたばかりのロックアイランドの中にあるパラオの名勝ミルキーウェイやロングビーチを訪れ、また世界でパラオにしかない毒の無いクラゲにも直に触れました。

最終日には世界最大のイルカの飼育施設でイルカとの交流を行った後、珊瑚の増殖活動にも参加しました。また同じく最終日にはパラオ高校の生徒達とのスポーツ交流を行い、さらなる両国の友好を深めつつ、本校生徒達も多くのことを学びました。



毒の無いクラゲに触りました



イルカと一緒に記念撮影

僕はジェリーフィッシュレイクで自然の美しさを知りました。それと同時に現実も知りました。ジェリーフィッシュレイクに入った時にガイドの方が言われた、「クラゲのそばではフィンを動かさずに優しく泳いでほしい。フィンを使って泳ぐとクラゲたちに当たり、死んでしまうから」という言葉が心に突き刺さりました。実際、湖の中を見てみると、フィンで傷ついたであろうクラゲもたくさんいました。それを見てはくはもっと世界の自然環境について知らないといけないなと思いました。 5年3組 二宮 黎



珊瑚を植え付けている様子



パラオ共和国国会議事堂を視察

パラオと聞いて、すぐイメージできる人はあまりいないと思います。私も「パラオってどこにあるの?」「パラオってそもそも何が有名なの?」とたくさん聞かれました。私はパラオに行ってみて、とても親日的な国だと何度も思いました。それは私がパラオで感じた現地の人々の優しさだけでなく、政治の場面でも日本と同じ意見だったり、日本に対して良くしてくれたりしていると大使館で学んだからです。外国に行く時には、その国の歴史や日本との関係などを勉強していくとより楽しくなると思いました。

5年2組 山根 諒子

先日、ロックアイランドが世界遺産に登録されました。私たち日本側からみると、それはとても喜ばしいことだと思いますが、パラオ観光省へ赴いてお話を伺ってみると、観光客が増えることによるゴミ問題、またそこからの環境破壊を危惧しているとおっしゃっていました。こうして私たちが観光としてきれいな海やサンゴを見ることができるのは、パラオの人達がこれらの自然を今まで大切にしてきたからなのだと思います。また、これからもその自然を守っていかようとしている姿勢に感心しました。私たちが捉える文化と自然は別物ですが、パラオにとっては「文化=自然」だということを知りました。 5年4組 丸岡 由佳

CONTENTS

- 5年研修旅行
 - パラオ _____ 1
 - イギリス _____ 2
 - 中国 _____ 2
 - 屋久島 _____ 3
 - 北海道(アウトドア) _____ 3
 - 北海道(カヌー) _____ 3
- 4年ニュージーランド語学研修 _____ 4
- 2年ニュージーランド交換留学 _____ 4
- 1年校外学習 _____ 4
- 原爆手記朗読劇「夏の雲は忘れない」 _____ 5
- 進学フォーラム _____ 5
- オープンスクール _____ 5
- TOPICS _____ 6
- 文化祭Information _____ 6
- CLUB NEWS _____ 6



食事中も英語での会話に花が咲きます



校庭で友達とおしゃべり

ロンドンオリンピック開催で注目を集める国、イギリス。生徒30名はこの国の南部・サセックス州ハーストカレッジに約2週間滞在しました。カレッジでは寮に滞在し、午前中はレベル別の英語授業を受け、午後にはアートやスポーツなどの中から希望するアクティビティに参加しました。

また、週2回の遠足でケンブリッジ、オックスフォードやブライトンなどを訪れて、趣の異なる街の様子からイギリスの様々な姿を学びました。

生徒たちは日本の常識が通用しない中で時に伝えたいことがうまく表現できず、歯がゆい思いをすることもありました。得意なスポーツや共通の趣味を通じて積極的に関わる勇氣を持つことで、異文化の人ともコミュニケーションができるという手ごたえを感じました。オリンピック観戦こそありませんでしたが、語学研修や他国の生徒との交流を通して、大きな成長を遂げた研修となりました。

授業では、日本人以外の生徒はよく自分から発言をしていました。だから私も負けないように発言することを心掛けました。日本人はすぐに恥ずかしくなってしまうので、そこは他国のことを見習うべきだと思いました。今回、この研修旅行に参加して英語をより好きになり、もっと勉強して英語で自分の意見をはっきり言えるようになりたいと思っています。 5年2組 俣野 伊都子

現地に行ってみると、自分を含めたほとんどの日本人は孤独感を感じていました。そんなイギリス旅行を変えたのは「積極的に」という言葉です。自分の意思是っきり伝える、授業、アクティビティ、寮での生活、どれに関しても積極的にいく…。それが僕たちを変えてくれました。文化の違いはあっても、やはりほとんどの国が思いやりや優しさを持っており、それを伝えたいという気持ちがあります。“Sorry”や“Thank you”など、とても簡単な言葉しか言えない時もあつたけれど、それだけでも思いは伝わります。 5年6組 大土井 航



上海環球中心(ビルが高すぎて三角に見えます)



北陵公園

めざましい発展を遂げる中国を生徒14名が訪れました。まず一行を迎えたのは、高層ビルが立ち並ぶ上海。上海環球中心の100階展望台を訪れ、上海の発展を実感しました。また、西川ゴム工業上海工場やひろしま産業振興機構国際ビジネス支援センター上海事務所、ユニクロの上海旗艦店などを訪問し、中国でのビジネス展開について学びました。続いて一行が訪れたのは、清代の遺産を遺す瀋陽。世界遺産の北陵公園で悠久の歴史を感じました。最後に訪れたのは、内モンゴル自治区のホルチン。大自然と共に生きる人間のありようを肌で感じると共に、自分達の使っているレアアースが砂漠化の一因となっていることを学び、環境問題について理解を深めました。

経済の発展を感じたのはもちろん、貧しくてもひたむきに生きる人々の姿や、自然と共に生きる人々の暮らしから、自分の生き方を見つめ直す旅になりました。

この研修旅行を通して、現在世界中で起きている環境問題について考えていきたいと思いました。日本で生活を送っていると、このようなことはあまり気になりませんが、自分たちも環境問題の原因の一部と考え、環境問題を見つめていきたいと感じました。 5年4組 佐々木 真緒



ホルチン砂漠

研修旅行を終えて、外国語や今後の中国について以前より注目していきたいと思うようになりました。実際に行ってみて、中国は今後世界の中で重要になっていくところだと分かったので、現代を生きていくには、中国の状況を把握するべきだと思いました。そして、今習っている英語だけでなく中国語も少し話せるようになった方がいいなと感じました。 5年2組 船倉 直人

5年研修旅行／屋久島・エコプログラム体験コース

● 平成24年7月23日(月)～28日(土) ●



白谷雲水峡で屋久杉の雄大さに圧倒されました

九州最高峰の宮之浦岳を抱く屋久島は、沖縄から北海道までの気候、植物が体験できる自然豊かな島です。その屋久島の山では白谷雲水峡のトレッキング、安房川ではカヌー、一湊の海ではシュノーケリングを体験しました。白谷雲水峡は苔むす美しい森で、時折現れる樹齢1000年を超す屋久杉に圧倒さ

れました。安房川では、きれいな水はもちろん川面から上流の森を見上げました。一湊の海では、透き通るような青い海の中に、たくさんの命を感じました。そして、そのすべてが水でつながっていることを知りました。屋久島を体全体で感じ、自然について改めて考えさせられる旅になりました。



一湊の海。透き通るような青さ

屋久島の自然は広島にはない美しさを持っていました。それは、普通に高校生活をしていては絶対に味わうことのできない感動と、自然の中で遊ぶ楽しさを教えてくれました。このコースのプログラムはある程度余裕があって、その時間に散歩に行ったり、花火をしたりなど自由に楽しむことができました。屋久島は日本の中でもかなり素晴らしい所で、高校生のうちに行くことができよかったと思っています。 5年5組 岸本 泰三

5年研修旅行／北海道・アウトドアスポーツ体験コース

● 平成24年7月22日(日)～27日(金) ●

北海道十勝管内にある然別湖周辺で生徒18名が、北海道アウトドアコースに参加しました。搾乳体験から始まり、カヌーや登山、エアトリップなどのアクティビティからカーリング体験まで、天候にも恵まれ全てのプログラムを行うことができました。活動を通し、雄大な自然を目の当たりにすることで、その偉大さや厳

しさを身体全体で感じ、挑戦する楽しさを知ることができました。札幌市内観光や白い恋人パークの見学、ジンギスカン鍋と北海道の自然以外の面も学ぶことができました。多くの人々や自然に囲まれ、さまざまな事を学ぶことができた研修旅行でした。



動物とのふれあい



森の中でエアトリップ

北海道のアウトドア体験では、動物や植物の気持ちになって森の中を飛んだり、川の流れに沿って渓流を下ったり、とても貴重な体験をすることができました。また、北海道にしかないものを見ることができ、広島とは違う自然を感じることができました。自然の大切さを身をもって知ることのできた研修旅行になりました。 5年3組 古池 悠季

5年研修旅行／北海道・カヌー体験コース

● 平成24年7月22日(日)～27日(金) ●

生徒18名が参加した北海道カヌーコース。初日、2日目は阿寒湖でカヌーの基本的な操作について学びました。最初は悪戦苦闘しながらも、インストラクターの方々の丁寧な指導のもと、一生懸命取り組み、徐々にコツをつかんでいく生徒たちの姿が印象的でした。3日目からは、3日間かけて釧路川を下り、ゆったりした川の流れに乗って、釧路湿原の雄大さや美しさを、五感を使って感じることができま

した。野生動物の姿を見たり、声を聞いたときには、その感動を友人と分け合い、終始笑顔で最後まで全員で漕ぎ切ることができました。インストラクターの方々のご好意で、夜には肝試しや、ホテルを見に連れて行っていただくなど、カヌーだけでなく、人と人とのつながりの温かさを感じることもできた研修旅行でした。



大自然の中でカヌーを満喫



みんなでアウトドアクッキング

四方八方自然だけしかない景色というものを初めて見ました。その景色の中に自分たちがいるということが新鮮であり、どこか不思議な感覚でした。いわゆる普通の研修旅行というのは、協力することを学ぶというのがテーマの一つではありますが、この北海道カヌーコースでは、協力することの「楽しさ」を純粹に味わうことができました。インストラクターの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。 5年1組 梅村 亮太

4年ニュージーランド語学研修

●平成24年7月21日(土)～8月13日(月)●

4年生の有志25名は引率教員2名と共に、ニュージーランドに約3週間の語学研修に行きました。今年はハミルトン市からタウランガ市に場所を移し、ホームステイをしながら語学学校に通いました。タウランガ市はニュージーランド人が住んでみたいと憧れるリゾート地の一つで、治安が良くビーチの美しい地域です。

ここで英語の学習と異文化への関心の深化、人とのふれあいと人間力の向上を目指して学びました。研修には現地学生との交流会や学校見学のプログラムも含まれており、現地の人の生きた英語に触れ、コミュニケーションを図る良い機会になりました。各々自分を省みて、一回り成長した夏になったと思います。



書道をしています



グループでNZの都市について調べ、英語で発表しました。

私がこの語学研修に参加した一番大きな理由は、自分の将来の夢に向けて、NZでもっと英語を上達させたいと思ったからです。文法だけでなく、人と会話することで普段の授業とは異なる生きた英語に接することができて、本当に充実した時間でした。皆が経験しているわけではない、この3週間の時間を自分の中でしっかり活かして自分の将来に大きく役立てていきたいです。 4年2組 和泉 智香

2年ニュージーランド交換留学

●平成24年7月22日(日)～8月7日(火)●

中学2年生20名は、7月22日から約2週間の日程で、ニュージーランドのバサデナ中学校に行ってきました。ホームステイをしながら学校に通い、授業や学校行事に参加しました。また、マオリの文化を紹介してもらったり、博物館や農場などを訪問したりしました。こちらからは、浴衣、じんべえ、漢字やひらがなといった日本の文化を紹介したり、朗読劇や歌を披露したりして、良い文化交流

ができました。また、8月6日を現地ですれ違ふにあたり、原爆に関するDVDやアンケートを用いて、平和について一緒に考える機会を持ちました。

留学を通して、異文化に触れながら出会った人々との絆を深めることの喜びとコミュニケーションのための英語の大切さを感じることができました。



コミュニケーションの基本は遊ぶこと



うまく着られたかな？

バサデナ中学校に初めていった時は、とても温かく迎えてくれて嬉しかったです。廊下ですれ違ふ生徒はみんな、「Hi」と挨拶してくれて、とても温かい学校だと感じました。また、ホストファミリーの人たちには色々な所に連れて行ってもらいました。どの場所も楽しく興味深い場所でした。今回、この留学に参加できたことは、本当に幸せだと思えます。僕はニュージーランド、そして、バサデナ中学校が大好きです。これから一生懸命努力して、成長した自分と上達した英語をマックスたちに見てもらいたいです。 2年4組 坂本 貴滉

1年校外学習

●平成24年7月25日(水)～30日(月)●



「日本庭園」というテーマで箱庭を制作

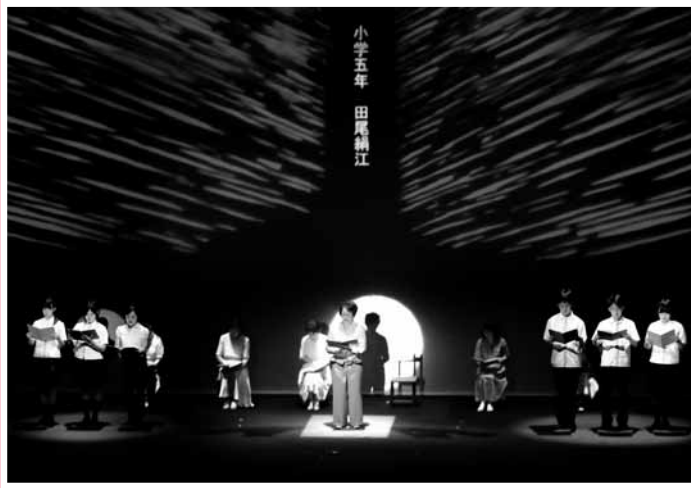
『五感を開いて自然と対話し、自然の中で暮らしを作る体験をすること』『集団生活を通して、規律・責任・協力の大切さを体験すること』を目的として、クラス単位で1泊2日の自然体験行事を行いました。班ごとに八千代キャンパス内を、五感を開いて探索して、「匂い」「音」「色」「手触り」「形」「動く物」といったテーマの地図や物語を創り、プレゼンテーションを

しました。また、草木染めをしたり、箱庭、トーマスポールなどを作ったりし、キャンパス内に新たな彩りを与えています。班で別々の料理を作り、夕食会の中で楽しくおいしく食べ、40メートル以上あるそうめん流しもしました。八千代校舎のスタッフやボランティアの方々の協力のもと、みんなの力を合わせて、自然の中で暮らす楽しさを味わうことができた2日間でした。



森の晩さん会の準備中

私達の班の料理が終わっていなかった時、声をかけたわけではないのに「手伝うよ」と言ってくれる人がいました。一緒に作ると料理がどんどん完成していくのでびっくりしました。また活動中も「やる時はやる」と気持ちを切り替え、自分の仕事に打ち込んでいるみんなの姿はカッコいいと思いました。今回感じた「協力」と「真剣さ」を、クラスでも活かしていきたいと思いました。 1年1組 大石 寛子



手記を朗読する女優の渡辺美佐子さんと本校の生徒



出演者の記念撮影

財団法人ヒロシマ・ピース・センターの主催で、被爆体験記の朗読劇「夏の雲は忘れない」が、7月14日(土)、広島工業大学デネブホールで上演されました。本校の2年生と3年生が保護者や一般招待客と一緒に観劇しました。出演したのは演劇界を代表するベテラン女優、大原ますみさん、高田敏江さん、寺田路恵さん、日色ともゑさん、柳川慶子さん、渡辺美佐子さんの6人。それに、本校の下岡玲奈さん(2年2組)、徳光雛さん(3年2組)、加藤佳子さん(3年4組)、橋原壮くん(3年5組)、小山稔史くん(5年2組)の5人が地元朗読者として共演しました。スクリーンには被爆後の街や人びとの様子が映し出され、原爆で親や子どもを亡くした人びとの悲しみや苦しみ、平和への思いが朗読されました。生徒たちは、感情を込めて読み上げられる朗読に真剣に聞き入っていました。

今までは戦争や平和について「伝えられる」側の人間だった自分が、今回「伝える」側になって、語り継ぐことの大切さを身をもって知ることができました。作品中の「星は見ている」という手記で、広島一中に通っていた博久くんが夜、星を見ながらお母さんに「ねえお母さん、どうして戦争なんか起きるのでしょうか、止めてほしいなあ、日本にない物はアメリカから送って貰い、フィリピンにない物は日本から送ってやり、世界が仲良いくかんものかしら。そしたら世界が一つの国家になって、世界国亜細亜州日本町広島村になるね」という台詞がとても印象的でした。その時から67年たった今でも、博久くんの願いはまだかなえられていません。だから、私たちが博久くんの願っていた平和な世界を目指してがんばっていきたいと思います。今回、俳優の方々と共に演じる経験ができて本当に良かったです。この日のことをいつまでも忘れず、これからの時代を作っていこうと思います。 3年4組 加藤 佳子

朗読だけなのに、なぜか自分の心で想像して、悲しくなったり感動したりして、涙が出そうになりました。僕はなぜか「小学生たちが見たあの時の現状」を自分に例え、ぞっとしたり、悲しんだり、恨んだりしていました。あの時、僕は完全に1945年8月6日にいたような気分でした。あの時の空、人びと、建物、景色がどんなものだったかは分かりません。でも、だいたい想像はつきます。今日は、薄れていた原爆の存在を鮮明に考えることができて、感謝の気持ちでいっぱいです。 2年2組 井上 慶一

進学フォーラム

9月1日(土)2011年度卒業生3名をパネリストに迎え進学フォーラムが開催されました。それぞれ大学生活、高校時代の受験勉強の仕方について自らの経験に基づいて話しをしてくれました。参加した生徒たちは先輩の話に熱心に耳を傾け、これからの学習に参考になる多くのヒントを得ました。以下に卒業生からのアド

バイスをいくつか挙げておきますので、皆さんもぜひ参考にしてください。「学校の授業を大切にすること」「最初から諦めない、自分の夢に向かってがむしゃらに取り組むこと」「目標を明確にして取り組むこと」「自分に合った学習方法を見つける」「得意科目を作ること」

パネリスト

原山 大【東北大学・理学部】

伊藤 靖子【広島大学・工学部】

伊藤 大地【早稲田大学・政治経済学部】



多くの生徒が熱心に聞き入っています



伊藤靖子先輩との個別懇談



「どう頑張ったら先輩みたいになれますか？」

オープンスクール ～夏だ! 海だ! なぎさへ行こう!!～



受付の様子



授業体験

本校初のオープンスクールが7月に開催されました。当日は梅雨の晴れ間でたいへん暑い一日でしたが、1000名近い児童・保護者の皆様にご来場いただきました。開門と同時に音楽部による歓迎の演奏が響くなか、来場者は校内各所に設けられた体験・見学ゾーンへと進んでいかれました。授業体験では少し緊張した面持ちで参加する児童の姿が見られ、クラブ体験では在校生の案内のもと汗

を流し、瞳を輝かせながら部活動に参加する児童の姿が印象的でした。入試問題解説コーナーでは、出題傾向など詳しい説明を一心にメモをする姿が目立ちました。在校生が質問に答える「交流カフェ」では学校生活に関するさまざまな話題が飛び交い、話に花が咲いていました。当日は受付・案内・クラブ体験などに400名以上の本校在校生が参加しましたが、来場者から「言葉遣いがいい」「積極的に話しやすい」など多数お褒めの言葉をいただき、盛況のうちに幕を閉じました。

中学硬式テニス部 丸石 拓海(3-5)くん、竹野 光稀(2-3)くん、全国大会出場!

●第39回全国中学生テニス選手権大会中国予選

日程:平成24年7月24日(火)・25日(水)

成績:個人戦 男子ダブルス 第1位

●第39回全国中学生テニス選手権大会

日程:平成24年8月22日(火)

場所:東京都立有明テニスの森公園テニスコート

前田 優林(2-5)さん、体操で全国大会出場!

●第45回広島県中学校体操競技選手権大会

日程:平成24年7月14日(土)・15日(日)

成績:個人総合 第2位 ・跳馬 第2位 ・段違平行棒 第2位 ・平均台 第3位 ・ゆか 第4位

●第46回中国中学校体操競技選手権大会

日程:平成24年8月7日(火)・8日(水)

成績:個人総合 第3位 ・跳馬 第6位 ・段違平行棒 第3位 ・平均台 第9位 ・ゆか 第8位

●第43回全国中学校体操競技選手権大会

日程:平成24年8月19日(日)~21日(火)

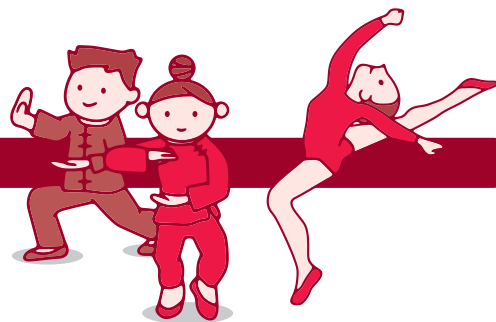
場所:山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園体育館

横町 祐実(2-4)さん、太極拳で中四国大会優勝!

●第5回中国四国ブロックジュニア武術太極拳交流競技大会

日程:平成24年8月19日(日)

成績:長拳A 第1位 長拳B 第1位



文化祭Information

今年度の文化祭テーマは『Baloon』です。このテーマは、4年1組の吉本芽生さんのアイデアで、「たくさんの風船たちが、1つ1つ色鮮やかに輝きながらも、1つにまと

まって調和するような文化祭にしたい」という想いが込められています。個性あふれるカラーが集まり美しいハーモニーを奏でる文化祭を作り上げていきましょう。

1日目

校内発表会

日時:平成24年11月9日(金)

場所:本校体育館

2日目

一般公開

日時:平成24年11月11日(日)

場所:本校校舎・体育館・グラウンド

CLUB NEWS

高校放送部

●第59回NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会

日程:平成24年7月23日(月)~26日(木)

場所:国立オリンピック青少年記念総合センター

成績:アナウンス部門 入選 三小田 匠(III-1)

高校硬式テニス部

●平成24年度第49回広島市夏季高校生テニス選手権大会

日程:平成24年8月2日(木)・3日(金)・7日(火)

成績:男子ダブルス

林 惇平(5-5)・村竹 匠(5-4) 第3位

男子1年生シングルス

山崎 将(4-2) 第3位

中村 俊文(4-4) ベスト8

●第65回広島県高等学校テニス新人大会(個人)

広島地区予選

日程:平成24年8月16日(木)・17日(金)

成績:男子ダブルス

村竹 匠・武久 翔梧(4-3)・林 惇平・曾田 駿希(5-6)

【県大会出場】

男子シングルス

林 惇平、今津 寛知(5-4)、上田 悠太郎(4-1)

【県大会出場】

女子ダブルス

岡野 愛子(5-1)・宮腰 佑希(5-2)【県大会出場】

女子シングルス

長井 遥(5-5)、下村 風香(5-6)、岡野 愛子、宮腰 佑希

【県大会出場】

高校陸上部

●第60回広島地区高等学校夏季陸上競技選手権大会

兼 広島県高等学校対抗陸上競技大会広島地区予選会

日程:平成24年8月8日(水)・9日(木)

成績:男子100m 池内 雅貴(5-6) 第1位

男子200m 池内 雅貴 第1位

男子100m 角山 巧(5-6) 第2位

男子200m 角山 巧 第4位

男子110mハードル 有田 竣哉(4-3) 第6位

男子走幅跳び 渡邊 浩陽(III-1) 第8位

男子4×100mリレー

有田 竣哉・角山 巧・池内 雅貴・椎原 尚也(5-1)

第1位

男子4×400mリレー

角山 巧・椎原 尚也・河野 貴大(5-5)・有田 竣哉

第6位

女子400m 難波 未菜(5-3) 第6位

中学硬式テニス部

●第60回広島市中学校総合体育大会テニスの部

日程:平成24年8月9日(木)・10日(金)

成績:団体戦 男子 第1位

個人戦 男子ダブルス

丸石 拓海・竹野 光稀 第1位

藤田 貴久(3-2)・澤田 文弥(2-1) 第3位

個人戦 女子ダブルス

馬屋原 月子(3-1)・萬谷 美優(3-1)ペア ベスト16

沖 菜摘(2-2)・横町 祐実(2-4)ペア ベスト16

中学陸上部

●第58回全日本中学校通信陸上競技選手権大会

日程:平成24年6月30日(土)・7月1日(日)

成績:1年女子100m 鎌田 なるみ(1-5) 第3位

3年女子100m 水谷 瑛美莉(3-3) 第5位

共通女子200m 水谷 瑛美莉 第4位

共通女子砲丸投 脇田 愛生(3-2) 第8位

共通女子4×100mリレー

脇田 愛生・水谷 瑛美莉・藤井 友花(3-3)・鎌田 なるみ

第6位

●第39回広島県中学校陸上競技選手権大会

日程:平成24年7月21日(土)・22日(日)

成績:1年女子100m 鎌田 なるみ 第3位

【中国大会出場】

共通女子4×100mリレー

脇田 愛生・水谷 瑛美莉・藤井 友花・鎌田 なるみ

第7位

●平成24年度第60回広島市中学校総合体育大会

陸上競技の部

日程:平成24年8月11日(土)・12日(日)

成績:高学年女子800m 中野 夢果(3-5) 第8位

高学年女子4×100mリレー

脇田 愛生・汲地 玲実(2-4)・藤井 友花・丸山 奈々花(2-4)

第8位

1年女子100m 鎌田 なるみ 第1位

1年女子200m 齋藤 理加(1-5) 第7位

1年女子80mハードル 鎌田 なるみ 第1位

1年女子80mハードル 齋藤 理加 第5位

1年女子総合 第2位

中学サッカー部

●第60回広島市中学校総合体育大会サッカーの部(佐伯区大会)

日程:平成24年8月5日(日)・7日(火)・8日(水)・9日(木)・20日(月)

成績:佐伯区1位にて広島市大会出場

●第60回広島市中学校総合体育大会サッカーの部(広島市大会)

日程:平成24年8月25日(土)

成績:広島市ベスト16